

# 中農だより

## 一学期はじめにあたり 校長 具志堅三男

### 学校生活をエンジョイしよう

夏季休業期間中、進路対策、部活動、農業クラブ活動、農場当番など皆よく頑張りました。



さて、皆さんは本日登校して真っ先に何を感じましたか。校庭や農場がとても綺麗だと思いませんか。管理当番の生徒やボランティアの生徒たちが『皆が良い気持ちで登校できるように』という気持ちで、芝刈りなど美化活動に頑張っていました。特に二年四組の知花康太郎君は、毎日、校内の草刈りや樹木の剪定をしていました。素晴らしいですね。

ところで、最近、中・高校生が携帯電話（スマホ）を活用して性犯罪に巻き込まれているというマスコミ報道があります。携帯電話（スマホ）は便利ですが犯罪に利用される危険性も潜んでいますので、その使用については、十分に気をつけてほしい。もし、そのことで悩んでいる人がいたら、一人で悩まないで校長、担任、カウンセラーなどに相談してください。

「日に新たに、日々新たに、また日に新たに」（君子）の言葉のとおり、一学期に楽しいこと、嫌なこと、いろいろなことがあったにしても、二学期はまた新たな気持ちで、学校生活をエンジョイしましょう。

発行  
中農農林高等学校  
〒465-8570  
Tel 973-3578  
生徒募集部

次回の  
中農市  
10月18日

## 熱帯資源科二年 渡慶次静奈さん 海外研修参加



私は「おきなわ国際協力人材育成事業」に参加して、フィジーとサモアという大洋州にある二カ国の小さな島国での研修に参加しました。  
この国では、ゴミ処理や水問題などさまざまな環境問題があり、その問題を解決するために行われている国際協力状況を視察しました。現場を視察して、その国の自立を助ける努力「自助努力」の手伝いをするのが国際協力だと学びました。技術を教えるだけが国際協力だと思っていましたが、現地で昔から伝わるやり方を大切に、自立してもその技術が使えようように考えられていました。国際協力は相手国の文化や伝統を壊さないように気をつけながら、支援のニーズに合わせるのが一つのルールだと思いました。  
私は行く前に、どうして税金を使って国際協力をするのかと思っていました。しかし、援助をする側もされる側も共に成長することができるのだと分かりました。また、たくさん国々が、国際協力という大きな輪で繋がっているのが分かるからだと思います。  
今回の事業に参加して、たくさん仲間ができました。現地で行った高校生とも連絡を取り合っています。たくさん人と繋がりがあうことで私の視野も広がりました。

私は、多くの視察や交流を通して、生活のありがたさを感じ、今高校で学んでいる農業などの技術が海外で必要とされていると気づかされました。これからは、体験したことを活かし、将来の国際協力に活かしていきたいと思っています。

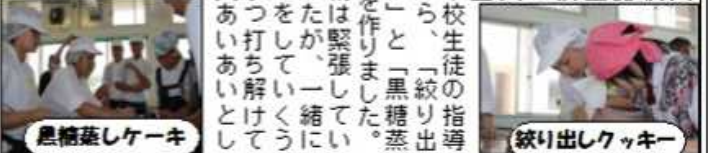


## 《10月の行事》

- 1日 全体集会 身なり指導週間  
研修旅行(2-1,2-3:~4日)
- 2日 中学生体験入学①
- 3日 ガス溶接講習(2-4:~5日)
- 7日 勤怠指導
- 8日 PTA常任委員会
- 10日 PTA代議員会
- 11日 第2回英検
- 12日 県新人大会(空手:~14日)
- 15日 中間テスト① 5・6校時 月の5・6校時
- 16日 中間テスト②
- 17日 中間テスト③ 熱帯資源科中間発表  
全体清掃 日本情報処理検定(World)  
高等特支入試説明会
- 18日 中農市 日本情報処理検定(Excel)
- 22日 第83回F F J大会(首都圏:~24日)
- 24日 動物介在活動:3-1動物コース
- 26日 秋季ラグビー競技(~27日)  
IT/スポーツ試験
- 28日 校内読書週間(~11/8)
- 29日 生徒会長選挙(1校時)
- 30日 車両系建設機械技能講習(3-4:~31日)

## 美咲特別支援学校との交流授業

九月十八日、美咲特別支援学校の三年生と食品科学科の三年生との交流授業が行われました。美咲特支の生徒たちは本校生徒の指導を受けながら、「絞り出しクッキー」と「黒糖蒸しクッキー」を作りました。お互い最初は緊張していた様子でしたが、一緒にお菓子作りをしていくうちに少しずつ打ち解けてきて、和気あいあいとした雰囲気の中でお菓子作りを楽しみました。お互いを理解しあう良い機会となりました。



黒糖蒸しクッキー

絞り出しクッキー

## PTA会員研修

九月二十一日、IT教育を通して、子供のコミュニケーションのあり方を考えると共に、会員相互の親睦を図り今後の活動に寄与する目的で、PTA研修会が実施されました。PTA総務部長の島袋亨氏を講師としてお招きし、保護者や職員に対して、ITツールの使い方やその功罪について勉強会を行いました。参加者から笑顔が溢れる充実した研修で、ITツールに関する知識を深めることができました。



IT勉強会

## 九州農業クラブ大会 中部農林高校大健闘

八月七日から九日までの三日間、長崎県で行われた「第五十六回九州学校農業クラブ連盟発表大会」において、プロジェクト発表に県代表として本校の食品科学科、園芸科学科の生徒が出場し、食品科学科が食料・生産の区分で最優秀賞、園芸科学科が環境の区分で優秀賞を受賞しました。最優秀賞を受賞した食品科学科は、十月に東京都で行われる「日本学校農業クラブ連盟全国大会」に出場することが決まっています。



- 最優秀賞 プロジェクト発表(食料・生産)  
「うるま市のまオクラで広がる大きなわパパートII  
オクラ種の生産・流通・販売への取り組み」  
食品科学科3年  
食田科科学科3年
- 大牟禮賞、吉里真紀、喜納由華
- 古波蔵佳穂、仲宗根慶
- 優秀賞 プロジェクト発表(環境)  
「未来へ繋げ！レキオスハートに想いをのせて  
沖繩の野生ランを活用したプロジェクト」  
園芸科学科3年
- 平良圭祐、大石彩、平良雅、  
仲領伊吹、2年 河川取美憂、  
上江洲希佳、梅崎祐磨、山城達博、  
高山洋太、1年 座喜味涼

# 造園科・学科紹介

## ～ 庭造りのプロ(庭師)を目指して～



学科長

儀間朝尚

### 【学科の特色】

本科の目標は「庭師（造園技術者）」の養成です。「庭師」とは、造園植物の栽培管理及び造園の設計・施工管理に関する知識と技術を習得し、造園及び関連技術者として社会に貢献している産業人をさしています。本科の特色として、車両建設機械をはじめとした様々な資格取得への取り組みがカリキュラムに組み込まれており、造園業及び土木建築業等に従事する際、即戦力として働ける能力と態度を養います。一年生では主に農業の基礎や測量について学習し、二年生から本格的に造園に関する専門科目を学習していきます。また、作庭や庭園管理などの専門科目をとおして専門技術を習得し、心身ともに調和のとれた人材の育成を行っています。

### 平成24年度卒業生の進路先

#### ★ 進学先

日本大学  
沖縄大学  
沖縄県立農業大学校  
ワイテクカレッジ  
日本スポーツ健康福祉専門学校  
国際電子ビジネス専門学校

#### ★ 就職先

(有)ピック開発  
養老乃瀧株式会社  
タイカー産業株式会社  
陸上自衛隊  
株式会社沖電工  
グリーンシステム株式会社

他

### ※ 造園技能検定

- 造園科で取得できる資格
- ①2・3級造園技能士
  - ②車両系建設機械運転技能講習
  - ③小型移動式クレーン運転技能講習
  - ④玉掛け技能講習
  - ⑤アーク溶接特別教育
  - ⑥ガス溶接技能講習
  - ⑦測量上級技能検定
  - ⑧危険物取扱者試験

### 造園技能検定実技試験 3級合格者22名

造園技能検定に合格すると「造園技能士」の国家資格を取得することができます。また、「庭師」として必須の資格です。この資格を取得するためには、学科試験・実技試験・要素試験の三つの試験に合格しなければならぬため、授業時間以外でも生徒たちは自主的に試験対策に取り組まれました。その甲斐あって今年度は三級合格者が二十二名という結果となりました。また、前年度三級合格者の中から今度はさらに二級の検定に十名の生徒がチャレンジしており、十月の合格発表を待っています。



### ※ 測量上級技術検定

測量上級技術検定は、沖縄県学校農業クラブの資格です。トランシットを用いて角度を測量する技術を認定する検定で、器械の取り扱い方や据え付け作業、測定値の処理などに関する、実技試験と学科試験の両方に合格しなければならぬため、造園技能検定と同様に、生徒たちの自主的な取り組みが重要です。



また、今年五月に国家資格である「測量士補」試験に三年生一名がチャレンジしました。今回は測量士補試験は難関で残念ながら合格者ではありませんでしたが、次回は合格者ができるように取り組みを強化していきます。



実技試験

### ※ 県内庭園見学研修 本土名園視察研修

日本庭園の歴史と伝統並びにその作庭技法等について、知識・技術を習得し、将来のスペシャリストとしてのスキルの向上を図ることを目的に、本科では研修を実施しています。

#### 県内庭園見学研修



一年生では識名園や首里城などの琉球庭園を見聞し、二年生では龍安寺や金閣寺など京都・大阪の有名な日本庭園を見聞します。日本庭園の美しさ・奥深さを直接肌で感じることで、できる貴重な体験が得られる研修です。



本土名園視察研修